

信金中央金庫が 紺綬褒章を受章

草潤中整備に1千万円

企業版ふるさと納税を活用し、岐阜市の不登校特例校「草潤中学校」整備のために1千万円を寄付した信金中央金庫(東京都)が、紺綬褒章を受章した。16日



伝達式に出席した(左から)柴橋正直市長、鈴木武宏理事名古屋支店長、好岡政宏理事長＝岐阜市役所

に同市役所で伝達式があり、信金中金や両者を仲介した岐阜信用金庫関係者が喜びを分かち合った。

信金中金は創立70周年記念事業「SCBふるさと応援団」の一環として2020年度に1千万円を市に寄付。教室やトイレ、図書館の整備に充てられた。岐阜信金は寄付の推薦書を信金中金に提出するなど、市と信金中金の間を取り持った。

伝達式で柴橋正直市長から褒状を受け取った信金中金の鈴木武宏理事名古屋支店長は、生徒の安心できる居場所づくりに寄付金が生かされていることを聞き、「そういったことにお金が使われ、何よりだ」と笑みを浮かべた。式には岐阜信金の好岡政宏理事長も同席した。(山本貴史)